

日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第一病院

病院長名 錦見 尚道

所在地 〒453-8511
愛知県名古屋市市中村区道下町3-35

交通案内 名古屋市営地下鉄東山線「中村日赤」下車
地下通路直結



病院の特徴

当院は名古屋市西北部に位置し、一日平均外来患者数約1,400名、病床数852床、職員数1,500名と、この地域の基幹病院の一つである。救命救急センター、小児医療センター、総合周産期母子医療センター、造血細胞移植センター、緩和ケアセンター、化学療法センターを運営するとともに、神経疾患、循環器疾患、消化器疾患、呼吸器疾患などの診療でも専門科の壁を越えた医療を実践するシステムが整備された、活力にあふれている病院である。内科系、外科系ともフレッシュな症例が多く、上級医が最終的な責任をとるが、研修医が思い切り腕を振ることができるアクティブな研修環境は当院の伝統である。職種の枠を超え仲が良く気さくで、研修医に自分たちの知識と経験を教えることに喜びを感じている職員ばかりである。現在の医療に必須なチーム医療を学び、実践する上で、最良の病院の一つである。地域の住民は庶民的かつ実直であり、研修医の人間性を養う上で良い環境と思われる。更に日本赤十字社の使命である災害救護、海外救援についても幾多の実績を有し、また定期的な訓練が行われている。これらに積極的に参加することにより初期臨床研修をより充実したものにすることが可能である。

研修の特徴

初期臨床研修に必要な診療科全てを備えた総合病院として、総合診療方式による臨床医の育成には適したプログラムを有している。さらに、単科精神科病院、診療所等に研修協力を依頼し、充実した初期研修が単一医療圏内で効率よく実施できるようにしている。専門診療科が豊富であることは、診断が付けにくい、あるいは治療が困難な症例を経験することができる利点がある。一方、初期研修期間中に多くの診療科をローテートするために、研修医自身で将来を考えての研修診療科を選択する時間的余裕がない欠点もあった。2012年の初期研修プログラム(一般、産婦人科、小児)から、それぞれの研修プログラムに応じた必須ローテート科を確保した上で、研修医が自ら選択できる機会を増やしたことにより、研修医の希望を最大限に考慮した自由度の高い研修を行うことが可能になった。つまり必須科のローテート期間以外は、各自が研修を組み立てることになるため、研修医のうちに全身管理のスキルを身につけたい者や専攻科に悩む研修医はあらゆる診療科をローテートしたり、外科系を専攻科として決めた研修医は外科系診療科をメインとしてローテートする者もいる。内科系、外科系診療科はもちろん、総合病院ならではの診療科や部門でも経験を積むことができるため、当院の研修医は全員が充実した研修を組み立てながら研鑽している。

また、小児科、産婦人科プログラムにおいては、専門研修を開始する前に12週ずつそれぞれの診療科の概略を深め、スムーズに専門研修へ進むことができるプログラムとなっている。人気の高いプログラムであり、多くの小児科医、産婦人科医を輩出してきた。

いずれにしても自由度が高くなったことが利点と考えているが、自分自身の設計を実現できるように、同期の初期研修医間で調整を付ける能力も要求されることになる。

専門研修

新しい専門医制度が開始される以前から、日本赤十字社認定後期研修プログラムを有しており、多数の医師が当院での後期研修を修了している。新専門医制度においては、6つの基本領域(内科・小児科・外科・産婦人科・病理・救急科)のプログラムを有している。また、その他の領域においても主に名古屋大学の連携施設として、初期研修後も引き続き専門研修を行うことが可能であり、令和4年11月現在では61名の専攻医が専門研修を行っている。

どの診療科でも指導医・専門医が多く在籍しており、様々な症例を経験できることも当院の特徴であり、豊富な教育資源の中で、専門領域の知識の獲得と技術の研鑽には欠くことのない堪能な研修を積める。サブスペシャリティ領域専門医研修の整備についても準備している。

メッセージ

研修医 (吉田 健太 [令和3年 名古屋大学卒])

研修病院選びは憂鬱でした。私だけでしょうか。間違った選択をして2年間後悔したらどうしよう、と不安でした。

学生のうちの病院実習中に、自分が将来どのように働いているかを想像することは難しかったです。学生時代に「○○科と言えば××病院だ」など耳に入ってきますが、医局だとか専門医だとか留学だとかキャリア形成だとか、何もわかりませんでしたからそれが何を意味するのか不明でした(調べる努力・気力も足りていません)。よくわからない噂話、病院見学での研修医の話、お給料、仲良し同期の進路…などなど。

沢山の情報に埋もれて自分が何を重視しているかわからなくなった私のような人は、当院も考えてみてはどうか、というのが私の提案です。

私の主観ですが、当院はどの診療科も“強い”です。どの診療科の先生も活躍しています。むしろ診療科選びには苦労すると思います。どの診療科もローテートするごとに魅力的に見えてきます。貴方の進路選択において大なる可能性が残ると思います。紙面の関係で具体的なことは書けておらず申し訳ありませんが、優柔不断な諸君は、大きな病院でかつ、臨床研修体制が整っている当院に見学にきてください。後悔のない決断の一助となることでしょうか。私は後悔していません。待っています。

募集要項

採用実績	2021年度 21人 ・ 2022年度 18人
給与/月額	1年次 259,500円 ・ 2年次 274,500円 (※手当含まず)
当直回数/月	4回程度
当直料/回	支給あり
その他	研修医寮あり
応募連絡先	担当者 教育研修管理課
	電話番号 052-481-5111 (内線54145)
	Eメール kensyu-jimukyoku@nagoya-1st.jrc.or.jp